

木曾シンポ2025

おわりに

小林尚人

50TH 1974 - 2024
ANNIVERSARY

写真：川村晶

紫金山彗星

A great comet also made an appearance to celebrate the 50th anniversary.

写真：川村晶「50周年のお祝いに大彗星も駆けつけてくれました」

寝覚めの床



御神木祭 6/3-6

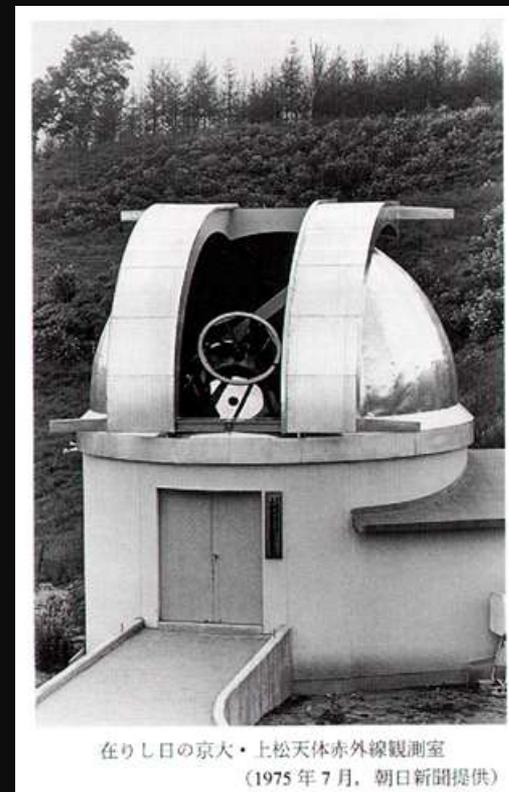
今年の木曾シンポも。。

◆どうもありがとうございました

●上松町開催は久しぶり

- じゃがいも？
- 伊勢神宮御神木祭（20年に1度）？
- 木曾観測所の地元というだけでなく、日本の地上赤外線天文の“発祥地”でもある

京大・上松1.0m赤外線望遠鏡
(佐藤、奥田、小林行ほか)



在りし日の京大・上松天体赤外線観測室
(1975年7月, 朝日新聞提供)



●望遠鏡＋装置はシンプルなのに。。

✓**広がり**は変わらず…大学・機関、分野、手法あらゆる面で

デブリ、人工衛星、地球接近小惑星、星・YSO、WD連星、
新星、超新星、GRB、FRB、重力波源から
謎の発光天体、低金属量星、紫外線衛星との連携まで

✓こういう発散 (divergence)こそ天文学の醍醐味？

✓今年度から**Tomo-e動画モニタリングサーベイ**を開始 (新納ほか)
(レガシーサーベイ)

←以前より「High-cadenceデータはレガシー (田中さん)」
昨年の名言「**人類の宝84.7TByte**」**畑中駿平さん**
昨年度「若手のご提案： 直川さん (宇宙論理論家)」

✓今後もぜひ気楽にご参加、ご希望表明いただければ

～3年前のスライド（少し改編）～

「木曾観測所は毎年こっこっブ레이크スルー」



光赤外の50年

旧時代の流れ

◆口径の時代(-2030) JWST/TMTでsaturation達成

新時代1: ハード

◆検出器の時代(1980-) BG-limited既達成、分光でのPN-limited、2次元化、新素子(SPADS等)

新時代2: ソフト

◆データの時代(2000-) 大規模データからの情報の抽出

- 天文は他の分野とは違い「誰にでも手が届く形態」にどんどん変遷している
- この最後のフロンティアを制した人の勝ちか？

- リソース投入率が日本は特に少ない
(世間一般のモノづくり神話依存と同じくハードウェア依存の慣性強すぎ?)
→リソースに頼らないアイデアを出すチャンス

ハードディスク無料



行き詰まり2024



2025神登場？

注) CPU代は忘れないでね



6輪ササユリ(木曾観測所)

来月に咲く予定

(今年は鹿にたべられないよう対策を)

◆今年も運用、観測、解析は続く。。。

- いつでもご提案ください (誰かが「いいね」押したらOK)
- 各自の進展、そして論文化を楽しみにしております。



東京大学木曾観測所

KISO OBSERVATORY, THE UNIVERSITY OF TOKYO

また1年後にお会いしましょう